

まちのわだい

あなたの周りで起きた出来事や楽しい話題、イベントなどの身近な情報をお待ちしています。

▷問い合わせ 広報情報係
(☎223局3569)



おおきなイモにびっくり!ママはにっこり!

10月31日 芋掘り交流会

芦屋町老人クラブ連合会の皆さんが柏原の畑で育てたサツマイモを、町内の保育所や幼稚園、障がい者施設などの皆さんを招待して一緒に収穫する芋掘り交流会が今年も行われ、約900人が参加しました。若葉保育所の湯浅颯太ちゃん(ふうた)は「たくさんお芋が取れた。大きな芋を妹に食べさせるんだ」と掘った芋に大満足。老人クラブの人は「来年はもっと大きな芋ができるようにがんばろう。子どもたちの喜ぶ顔が見られてうれしい」と話していました。

マツの植樹・育成に皆が協力

11月17日 鶴松保安林マツの植樹

芦屋町では、塩害などから農産物などを守るマツの保安林の確保や育成を行っています。近年は松くい虫などによる被害で多くのマツが枯れているため、マツの植樹を毎年行っています。今年も「がんばれ芦屋町ふるさと応援寄付金」などにより300本のマツを74人のボランティアが植えました。植樹に参加するのは4回目という西一颯さん(いぶき、中間市)は「毎年夏に海に遊びに来て、自分の植えたマツを見に来ている。来年の夏もマツの成長を見るのが楽しみ」と話していました。



今年もにぎわいました! 10回目の祭りあしや!

11月3日 祭りあしや

温かい秋晴れに恵まれた祭りあしやは今年で10周年。あしや砂像展開催中に芦屋海浜公園の駐車場で開催するようになって、来場者も年々増加していき、今年は約8000人でにぎわいました。ダンスやパフォーマンスも多様化。ステージの上では手づくりの新しい衣装も披露され、大人も子どもも一緒に楽しむことができました。





永年にわたり町政振興発展に貢献

11月1日 令和元年度芦屋町功労表彰式

令和元年度芦屋町功労表彰式が役場で行われました。本年度は芦屋町長として貢献された波多野茂丸さん（山鹿）、芦屋町議会議員として貢献された松上宏幸さん（江川台）、川上誠一さん（山鹿）、小田武人さん（芦屋）、辻本一夫さん（幸町）、貝掛俊之さん（高浜町）、学校薬剤師として貢献された田中孝一さん（宗像市）、鶴原範幸さん（山鹿）、芦屋町消防団員として貢献された大庭範久さん（高浜町）、原崎功典さん（西浜町）、後藤了輔さん（中ノ浜）の11人です。

パラスポーツを体験して、一緒に楽しもう

10月27日 パラスポーツ体験イベント

障がいの有無に関わらず、誰でも障がい者スポーツを体験できる機会を増やそうと、福岡県と福岡県障がい者スポーツ協会が体験イベントを総合体育館で行いました。音を頼りにゴールを目指すブラインドサッカーや6人1チームで卓球をする卓球バレーなど9種目のスポーツが体験できました。車いすバスケットボールを体験した有竹陽さんは「車いすに座ったままで、ジャンプできないのでゴールが遠くて大変でした」と話していました。



「明日はわが身」と会場中の人々が話に聞き入る

11月16日 社会福祉大会

町民会館で、社会福祉大会が行われ、地域の福祉推進に関係する皆さんが参加し、これまでの功績に対し、表彰状や感謝状の授与が行われました。その後、芦屋町出身の小倉記念病院脳神経外科の医師、波多野武人さんによる講演「脳卒中のお話」では、「早ければ早いほど、脳も命も助かる確率が高いので早く病院に行く。我慢しない」などわかりやすい説明がありました。

文化の町、輝く作品が多数展示

10月25～27日 あしや文化祭

あしや文化祭が町内各施設で開催されました。中央公民館では皆さんの精練された手づくりの作品が多数並び、来場者の目を楽しませていました。また、歌と踊りのつどいでも、みがきのかかった演舞などが披露され、文芸豊かな芦屋町の秋を彩っていました。

